

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年12月7日 (2017.12.7)

【公表番号】特表2016-540036(P2016-540036A)

【公表日】平成28年12月22日 (2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-549637(P2016-549637)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/02 (2006.01)

C 0 7 C 69/07 (2006.01)

C 0 7 C 69/145 (2006.01)

C 0 7 C 69/24 (2006.01)

C 0 7 C 69/63 (2006.01)

C 0 7 C 255/19 (2006.01)

C 0 7 C 253/30 (2006.01)

C 0 7 C 33/02 (2006.01)

C 0 7 C 21/215 (2006.01)

C 0 7 C 67/00 (2006.01)

C 0 7 C 68/00 (2006.01)

C 1 2 P 17/18 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 17/02

C 0 7 C 69/07

C 0 7 C 69/145

C 0 7 C 69/24

C 0 7 C 69/63

C 0 7 C 255/19

C 0 7 C 253/30

C 0 7 C 33/02

C 0 7 C 21/215

C 0 7 C 67/00

C 0 7 C 68/00 Z

C 1 2 P 17/18 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月24日 (2017.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ホモアリル化合物 2 をシクロプロピルビニル前駆体 1 からブレンステッド酸 H Q の存在下で生成する方法であって、

【化 1】

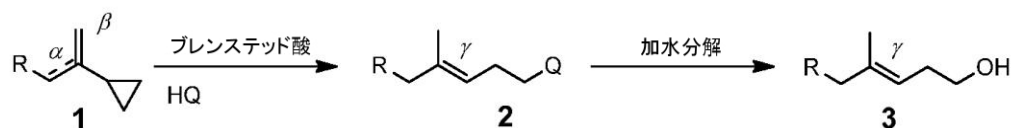


ここで、ブレンステッド酸 H Q は、 $R'CO_2H$ および / または HCl 、 HBr もしくは HI から選択されたハロゲン化水素から選択され、ここで R は C_{1-30} 環状、多環式もしくは非環式アルキル残基、またはアリールもしくはポリアリール残基であり、その各々は、飽和または不飽和、分枝状または直鎖状および置換または非置換であってもよく； R' は、 C_{1-30} アルキルまたはアリール残基であり、それは直鎖状または分枝状であってもよく、置換または非置換であってもよく、かつここで Q は、 $R'CO_2$ および / またはハロゲン原子である、

前記方法。

【請求項 2】

【化 2】



転位生成物 2 の加水分解による、請求項 1 に記載のホモアリルアルコールを生成する方法。

【請求項 3】

E / Z 比率が 70 : 30 より大きく、より特定の 75 : 25 より大きく；なおより特定の 80 : 20 より大きい、請求項 2 に記載のホモアリルアルコールを生成する方法。

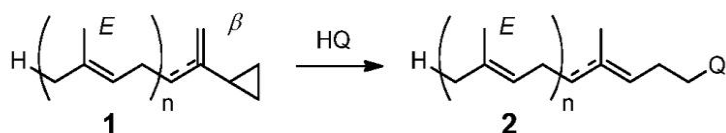
【請求項 4】

残基 R が炭素 - 炭素不飽和を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

基質 1 がポリプレノイド

【化 3】



式中、n は 1、2 または 3 である、

である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

基質 1 がシクロプロパン化ファルネセンである、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

Ambrox を生成する方法であって、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法に従って E, E - ホモファルネソールを生成し、このようにして生成した E, E - ホモファルネソールを、細菌酵素スクワレンホペンシクラーゼを使用して環化するステップを含む、前記方法。

【請求項 8】

転位生成物 2' のエステル交換および / または求核置換により、一般的構造 2 のエステルにし、前記エステルを水性塩基で加水分解して一般的構造 3 のホモアリルアルコールにする、請求項 1 に記載のホモアリルアルコールを生成する方法。